京城新報

鐵道協會歡迎號

明治四十四年 紀元二千五百七十一年
本紙定價 ▲一枚金三錢 ▲一ヶ月前金九十錢 ▲三ヶ月前金 ▲六ヶ月前金 ▲郵稅一ヶ月十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊(日刊)
廣告料 ▲五號活字十七字詰一行金五十錢 ▲特別廣告 五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久太郎
印刷人 松久鋼一郎
發行所 京城西小門通 京城新報社 電話六六三番 振替口座京城四五六番
仁川支局 仁川宮町三丁目 電話二一一番

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

●東京たより

◎文部省か今回文藝院を設け、文藝の發達助長を期すると共に卑猥なる文學の蔓延を防遏し、一方に於て通俗敎育機關の整備をなし、國民の思想界を整理せんとするは、洵に敎育上の一進歩に有之候、兎角無能を以て目せられつゝある文部省が遲蒔ながら此擧に出でしは吾人の意を得たるものに候。

◎通俗敎育とは如何なるものかと申せば學校敎育に對して廣き意味を有せる社會敎育にして、即ち學校の內外を問はず、通俗講話會を各地に開會し、敎育活動寫眞會を開催し、適當の人を撰びて說明及び講演を爲さしむる事、當今俗間に行はる講談師なるものに敎育的の材料を與へて之を實演せしむる事、通俗的圖書の閲覽を普及せしむる目的を以て各地の圖書館に圖書持殖人を置かしむる事等が今回文部省の通俗敎育なるものゝ方針に候。

◎文部省は之が實行上、通俗敎育調査委員二十五名を任命致し候、其顏觸を見るに、博士五人、學者、敎育家、小說家、新聞記者等を網羅しをれるが、今後調査委員が如何なる調査をなし、如何なることを實行せしむるかは、未だ之を知ることを得ざるも、思ふに前記文部省の方針を土臺として、調査をなし實行の方法を立てることゝならん、然るに俗間に大持てなる講談、浪花節、喜劇、活動寫眞の如きは、國民思想に大なる影響を與ふるものたるや何人も認むる所に候、而して其効力の顯著なること決して學校敎育に劣るものにあらず寧ろ其以上の勢力を有し居候。

◎是等通俗娛樂機關に對する學校敎育は甚しく無勢力にして、人心の良否一にこの娛樂機關に感化さるゝものと云ふも敢て過言に之は無候、文部省なるものが敎育行政の府として立つものとすれば、演劇とか講談落語活動寫眞等の取締を內務省のみに委かして顧みざるが如きは頗る當を失したるものに候

◎宜しく之を善用して敎育的のものに向上せしむることが大々肝要の事なり通俗敎育調査會の諸氏意を最も之れに注ぎ努めんことを望むものに有之候。

(靄生)

殖民地に於ける敎育に就て

仁川小學校長日野昭海氏談

一体殖民地に於ける就學兒童の敎育程度の低きは一般の通弊なれども實地に當り最も甚しきを感ずるは如何とも難なる欠點なり既に內地に於ては殆ど小學の義務敎育年限中に於てすら生徒の學術試驗を行ひ成績の結果に依り入校せしむると云ふ趨勢にて中々入學するにすら困難なる今日に於て殖民地と云へ敎育の方法其宜しきを得ずんば若し父兄にして再び內地に轉居の場合に際したれば勢ひ兒童も轉校せざる可らざる此の時に於て兒童が甲地に在ては三學年に在りしと雖も乙地學校の試驗の成績に依り再び二學年に下らざる可らざるは兒童に於て精神的苦痛を感ずる而已ならず其の恥辱と云はざるを得ず偶々京城の如き秀才の女生を出せしと雖も敢て誇るに足らず是等は單に天才と云はざる可らず是等を以て殖民地の敎育程度の一端を稱するは至難の事に屬す而して朝鮮の如き既に我が圈力內に入りし以上は半島啓發の第一着步として新智識の涵養敎育の布及は急務中の最たるものなり而しながら今日の場合我が國定敎科書を其儘朝鮮に採用するは當を得ざるものと考ふ如何となれば母國にては一斤は廿四錢の砂糖が朝鮮にては僅かに十二錢ならずや又內地にては最も重きをなす處の地方行政の如き又然り之等は一例として當仁川の如きは主として貿易及關稅等に重きを爲す必要あり又民團制の如き兒童に敎育するの要有りと雖も未だ小學兒童にして之等議員の選擧人及被選擧人の權利權能すら解し得ざる者而已に於ては半島啓發の遲々たるを感ず之等は敎科書其ものゝ長を採り短を補ひ殖民地に適當なる敎育の方法を以て兒童を涵養し母國の生徒と敢て遜色なからしむるは敎育當局者たるものゝ最大急務なりとす云々

●道路改修と貧民

京城道路にては管內道路の改修に關し過般發布されたる道路規程により夫れ〳〵設計する處あり目下案を具して總督へ申請中の由なるが該道路改修工事には主として鮮民の貧困者を使用し傍ら農閑を利して夫役をなさしめ一日十五六錢宛の辨當料の如き又錢を以て貧民には給與をなす方針なりとの事なり

●樹林苗圃の增殖

農商工部に於て經營せる樹林苗圃は昨年まで六個所なりしが本年は之れを十四個所增設したる由にて其の面積は八十九町歩あり年々一千二百萬本を生産する豫定なるが來年度は六百萬本を收得する豫定にして內百五十萬本は國の造林事業に使用し殘部は一般に配布する筈にて其苗木の重なるものは松、ポプラ、アカシヤ等にて一町歩の費用は約六七百圓を要し此以外に於ては地方費を以て五十個所の苗圃を設け面積五十町歩を得る豫定なりと尙は恩賜金償の利子を以て增設する苗圃は此以外なりと云ふ

●朝鮮群書續刊

朝鮮雜誌社經營の朝鮮古書刊行會に於ては本月は朝鮮群書大系第十九輯として高麗時代の珍本破閑集、補閑集、益齋集等を合本として出版し其々豫約者へ配本されつゝあり

外事一束

▲墨國 平和條約二十一日調印濟其全文は四個條より其大要を報ずれば先づ▲第一 ディアズは五月末までに大統領を退職すべきを宣言する事を記し。▲第二 副大統領も同時に退職し現外相デ・バーラ臨時大統領となり追て▲選擧を爲す事を第三條件とし第四新政府は憲法を重んじ現狀不破壞の▲施政を爲す事及二十二日以後全國戰鬪を中止し兵を解散する事等なり。▲虐殺 墨西哥トレオン市にて革命軍と支那人との衝突あり支那人二百餘。▲叛軍に虐殺され銀行家たる支那人林の死骸は街路を引廻され慘を極む。▲米國 駐墨米國公使は墨國公使より如上の報に接し調査の上抗議すべし。▲露國 にては鐵材非常に缺乏を告げ同國議會は十六萬噸の鐵購入を決議。▲日米 仲裁條約非公式に兩國間に協議せられつゝある旨米國官憲は發表。▲英國 海軍飛行船パロオ港にて試驗式擧行船身五百十二呎發動機を備ふ。▲會議 英國各殖民地首相は倫敦に帝國聯合會議を開き外交政策統一問題。▲海軍 防備問題等を協議討究の筈英帝は右出席員を歡迎會を催ふさゝ。▲淸國 にて墨國にて自國人虐殺されしに付て强硬なる談判開始に決せり。

召使れ初

第六十一回 黒法師



「旦那様」とれ察は改りたる聲に呼びかけ「只今承はる處、れ道様ゑう御出世、若年寄にれ召し出しなさせられた氣でござりまするな」

「れゝ、これは知らせが來た、この文を見やれ、男も及ばぬはその出世、恰ゐの」

「うてもでござります」とれ察は思ひ出したる聲「同じ女に生れながら、私とれ道様と何故てれ程身分が違ふでござりませうな」

「さ、其處ぢや、其處で私の云ふ事が分つて來る、れ道の出世は今日云ふて今日爲つた話ではない、うもうも親許にあらせの時から近衛合壁の噂に上る孝行女、れ祖母様のれ紀念を質に入れて、御父様のれ酒を買はせたはその人ぢや、その徳が今報ふて女の手に三十石の知れ取りてあらせられる、これや孝行の徳が出世を產んだのぢや、出世したさに御奉公をなされたのぢやない



で鯰のやうぢや」

偸兵衛は自惚たら〳〵なりき、れ察は受け粛いて。

「れ羨しいことでござります、私もこれほどに鎌が動けば、出世も爲るでござりませう者、今いふて取り返しの付かぬ後悔するでござります」

「いや、さうはない、文字を能く書くに由つて、出世がなると極つては居らぬ、世には弘法大師も跣足で御逃げなさる程立派な文字を書きながら裏店に燻ぶりて居るものもある、文字よりは忠義ぢや、手よりは心ぢや」

「旦那様、憚りながら私も武士の娘でござります、御奉公はれ道様に負ける筈ござりませぬ」

「ちやに由つて、うなたも今に出世をする、私の家へ來てから大分達者になつたでないか」

「れ蔭で風一つ引きませぬ」

「人間第一の幸福は、何處一つ惡い事もなく達者で月日を送ることぢや、三十石の御知行を頂戴するより身体の達者が眞の寶かも知れぬ、下世話にも運は天にあり、牡丹餅は棚、これが何時頭の上へ落ちて來まいものでもない、まあ氣を長く待たッしやれ、これはかりは急いでならぬ」

「私は、旦那様にれ願ひ申したい事がござります」

「什麽ぢや喃」

「れ道様御出世、若年寄ともれ爲り遊ばせばきされ召使ひも要らせう此上の御情、私をれ道様のれ側へれ遣はし下さることとなりませぬか」

「うなた町家奉公に飽いたと見ゆる」

「左様に我儘はござりませぬ、なれど節申す武士の娘、れ道様れ幸福にあやかりたいと存じます」

「れ前の頼み、聞き入れては遣りたいが、これはかりは私の一存ばかりでも行かぬ、時節を待て」

「うの時節何時來るとも知れませぬ、旦那様かられ道様へれ聞き下さることなりませぬか」

「甚う急ぐの」と偸兵衛は氣にも止めず「序に聞いて進ぜますわの」

「きされ願ひ申します、この望み協へば旦那様の御恩、何時までも忘れませぬ」

れ察も亦父助入に習ひたる詞ありて深く立身出世を待つなり、れ道が鳳屋の部屋子より一足飛びに、若年寄にれ召し出されたる由を聞いて、矢も楯も堪らぬやうに思ふなりき、大名の奥御殿には出世の玉が、ごろ〳〵と轉がりあるやうに感ずるなりき。

●本日六ページ

京城新報

鐵道協會を歡迎す

[illegible]

當り吾人は上に述べたるものを以て緊急を要するものならんと思惟す、是等

[illegible]の研究すべき好題目[illegible]く清國が借款により[illegible]計畫の鐵道は、將[illegible]何なる影響を與ふべ[illegible]實業諸君の注意を怠ら[illegible]政策の先覺者たる協[illegible]希はざるべからざる[illegible]連絡船の乘客賃を輕[illegible]吾人爰に喋々を要[illegible]併合後に於ける內地[illegible]益々頻繁を加へ殊に[illegible]力め諸般の事業を[illegible]急速とする時に方り[illegible]當時の運賃率を固[illegible]機宜に處するの途に[illegible]諸君の盡力により[illegible]を得ば鮮土及び內[illegible]たる事全國商業會[illegible]に徹して明らかな[illegible]するに當つて吾人[illegible]的に望むもの亦諸君[illegible]改善を圖らんとす[illegible]旨を知せよ。

東京電報(廿七日)

▲東宮水交社へ行啓 東宮殿下は本日水交社に於て催せし海軍紀念祝賀會に行啓あらせられたり

▲宮內官制服令 今廿七日の官報を以て宮內官吏の制服令公布されたり

▲皇族服裝令 本日の官報を以て皇族服裝令公布されたり

▲青年團選獎 文部省は地方青年團選獎の件を本日の官報を以て發表したり賞金は五十圓及び三十五圓の二種なり

▲赤十字維持費 日本赤十字社は明四十五年度より地方支部交付金を實收十分の八とし本部は其の殘部の十分の二と基金の利子を以て維持することに決したり

▲赤十字總會期 日本赤十字社第十九回總會は來る六月五日東京日比谷公園に開催することに決定したり

▲教育調查會 通俗教育調查委員第一回總會は來る六月二日文部省に於て開催し歐米諸國通俗教育に於ける施設調查の件外十一項を附議す

▲海軍紀念の祝宴 今廿七日海軍紀念日なるを以て第一艦隊は橫濱に碇泊し各艦夫れ〳〵祝賀會を催したり

▲士官學校卒業式 陸軍士官學校第二十三期卒業證書授與式は今二十七日午前十時半より同校に於て擧行せらる 天皇陛下には優等卒業生に對し恩賜の銀時計を下賜されたり

▲故萩原局長叙勳 故外務省通商局長萩原守一氏は勳三等に叙し瑞寶章を授けられたり

▲赤十字臨御奏請 松方赤十字社長は參內赤十字總會に皇后陛下の臨席を奏請したり

伯林電報(廿七日)

▲日獨條約と議會 獨逸聯邦議會は七月二日閉會となるを以て日獨通商條約が七月十六日に全部成立する場合は次期議會に修正する事を許す事を保留し假に之れを實施すべき權利を要求したり

▲日本館開館式 ドレスデン衛生博覽會參列の政府委員は日本館開館式を擧行しサクソニー國內務大臣も臨場したり

雜報

●愛國婦人會總會

既報の如く愛國婦人會朝鮮本部第二回總會は廿七日昌德宮御苑園にて擧行せられたり當日遂に朝來雨霽れず午後一時三十分煙火を合圖に一同着席するや副長小宮夫人は本部副長石塚夫人代理にて 總裁殿下御眞影の覆を撤せらるゝや君が代の奏樂の裡に一同最敬禮をなし副長小宮夫人の開會の辭あり了りて本部評議員伯爵寺內夫人の總裁閑院宮殿下御令旨の捧讀あり次で本部長代理の奉答及び事務報告會長代理祝詞、來賓祝詞、其他祝電の朗讀あり右にて副長小宮夫人は 總裁宮殿下御眞影の覆をなし一同最敬禮にて首尾能く式を了りたり右畢りて爆竹を合圖に模擬店の開始あり尙餘興として軍樂隊の奏樂、手踊、朝鮮古樂、綱渡り等雜種の競技あり因に當日雨天にも不拘貴賓としては 李王妃殿下の御臨場を初めとして寺內總督、大久保軍司令官其他文武官吏等來賓無慮數百名幽邃靜雅なる同秘苑內は帽影衣香充ち〳〵て生憎の雨天にも不拘非常の盛會を極め會員思ひ〳〵各所を拜觀して喜嬉の裡に散會せり

愛婦 總裁殿下令旨

總裁閑院宮妃殿下より左の令旨を賜はる

前項愛國婦人會總會に

朝鮮本部は創設以來未だ數年ならざるに會員日に月に增加し會務亦漸く其緒に就き將さに隆盛に向はんとするに方り玆に第二回總會を開くは最も欣喜の至りなり是全く忠愛なる職員並に會員諸氏の盡瘁による、それ本會の事業は前途尙遼遠其擴張を圖るは諸子の力に俟つもの多し諸子宜しく本會の趣旨を體し一層奮勵其目的を達せんことを望む

●各道授產計畫(一)

併合の殊典として各府郡に配付された恩賜公債一千七百餘萬圓の使途計劃は漸く成案を告げ總督の認可を得將さに實行に着手されんとす而して右は總督政治中最も注意すべき一事項に屬するを以て今玆に該賜金が如何に使用されんとするかを本日より各道別に報道すべし

……忠淸南道……

▲授產資金 同道各府郡へ配付されたる恩賜公債は總計八萬五千百圓にして之より收得し得べき利子四千二百九十圓を經常部とし外に臨時部に於ける收入一千百三十圓を加へ合計六千四百二十圓の資金を以て授產教育及慈善に關する事業を營まんとす而して授產事業は各郡共同事業、各郡別事業、補助事業の三とし以て其目的を遂ぐるものなり

▲共同事業 の主もなるものは蠶業傳習所にして公州天安鴻山洪州の四箇處に設立し傳習生は公州四十人天安二十二人鴻山三十三人洪州五十五人を收容し先づ兩班儒生の子弟より募り其不足を一般希望者より補ふものとす職員は內地人一名朝鮮人通譯一名とし其家屋は官有家屋を以て之に充て生產品は賣却して其歲入に組み入る而して傳習期間は四月中旬より八月中旬迄とし食費全部を給與し修了後は桑苗桑具を與へ若し自營の途なき時は他に就職を斡旋す傳習事項は飼育製糸殺蛹乾繭桑園の管理仕立方等なり其計劃は五ケ年を一期とし一面に對し約二名宛の卒業生を出し得る豫定なり又蠶業教師を聘し巡回講話を爲さしむべし次ぎは農事に關する巡回教師一名を置き苗代の仕立種苗の撰擇及植付、農具の使用法及叺繩の製作方に就き經費時間の許す限り普ねく各郡に亘たり實地的指導を爲さしむべし又次ぎは甘藷栽培獎勵事業にして其方法は公州天安洪州保寧海山恩津禮山の七箇處に苗床を設け期日を定め各面長を經て分與するものとす右計劃は五箇年を一期とし人口一人に就き約十貫目宛收得し得せしむる豫定也



奉祝地久節

▲郡別事業 は其主なるものを種籾早神力の給付とし五箇年間に九百五十石を配與し現收穫に比し約一割の增收を爲さしむる豫定なり其他蠶種、農具桑苗蠶種蠶具機械具を給付し又漁業獎勵の爲め延繩一本釣等の漁具を與へ教師二名を聘して二ケ月間實地指導を爲さしむ機械は庇仁舒川韓山鴻山青陽に施行し道技手をして巡回教授を施さしむるものなり

▲補助事業 は蠶業傳習所卒業生を管理者たらしむる條件を以て稚蠶共同飼育所の補助及機業製紙各組合に對する補助交付を主もなるものとす

●鐵道協會次第

鐵道協會員一行は二十七日午後六時五十分南大門驛着煙火數發の打揚げを合圖に一行は鐵道局員に案內されて各々定められたる宿舍に就き二十八日景福宮內に於て開會されたる帝國鐵道協會第八回定時總會に出席其總會の次第は左の如し

五月二十八日

午前八時三十分 景福宮勤政殿集會

同 九時 右同所に於て總會開會

同 十二時 終了 午後一時迄休憩

午後一時 懇親會開會 餘興開始

同 二時卅分 食堂開始(於慶會樓)

懇親會散會後廣通舘觀覽會舘には土產品を陳列して購買上の便利を圖り又別に朝鮮古器物書畫骨董類を陳列し二十九日も終日開舘

同 二十九日

午前八時 パコタ公園に集合次て九時より昌德宮參觀

午後一時三十分より同三時までの間總督府附近南山公園等觀覽

午後三時 大屋鐵道局長官の園遊會に臨み同時模擬店及餘興開始なり四時より食堂開始さる

●鐵道協會員招待

寺內總督は來る二十九日午後七時より同官邸に今回の鐵道協會に參列したる正會員二百四十余名を招待し晚餐會を開く筈尙は總督府よりは兒玉會計局長及同附武官陪席すへし

●鑛床調查の擴張

農商工部鑛務課にては昨今川崎技師田村技手等をして鑛床調查に從事せしめつゝあるが以上のみにては到底急に調查するを得ざるを以て今回新に農商務省より中村技師を轉任せしめ主として鑛床調查に當らしむる筈なりと云ふ

●民團學校敷地決定

既報京城民團立小學校新築敷地は漸く鐵路壽進洞に內定し兩三日中指令下附となるべき筈にて同敷地は二千百餘坪なり右指令到達の上は龍山文平山下に內定の敷地と兩所へ校舍新築提案の民會を開くべしと

●仁川築港起工式

仁川築港起工式は愈々六月十一日に擧行することに決定せり

●地久節と女校

廿八日は地久節に付き當民團立高等女學校に於ては古城民長臨席の上、御眞影拜賀式を擧行する筈なり

●東拓株二回拂込期 豫て報道したる東拓會社第二回の拂込(一株に付十二圓五十錢)は愈々來る六月五日に決定したる由にて拂込銀行は第一銀行本店大坂名古屋下の關及京城の同支店なりと

●原氏醫院を參觀 原敬氏一行は二十七日總督府醫院を參觀し藤田院長の案內にて各室を觀又其說明を聞き設備の完備せるを賞稱せりと云ふ

●原敬氏一行退京 滯京中なる代議士原敬、消本太郎、高橋光威の三氏は廿八日午前九時南大門驛發列車にて退京歸東の筈なり

●中村總裁の出發 三十日まで當地に滯在の豫定なりし滿鐵總裁中村是公氏は東都より急電に接し急に旅程を變更し二十七日午前九時南大門發東上したり

●木內長官の東上 木內農商工部長官は二十七日午前六時南大門發東上したり停車場には文武官五十余名の見送り盛んなりし

●工藤長官の出發 全羅南道長官に新任せられし工藤英一氏は昨夜平安道方面の旅行地より歸任し二十七日登廳商工局長の事務を引繼ぎ廿八日出發赴任の途に就く

●安藤謙介氏の元山行 滯京中の韓海漁業會社長安藤謙介氏は廿八日出發社用にて元山方面へ觀察の爲め赴くべしと云ふ

●小學校の軍事講話 昨紙所報の如く二十七日午前八時より民團立各學校は海軍紀念日の式を擧げ校長の講話等ありたるが總督附武官外波少將は日の出町小學校にて日本海々戰の講話をなし兒童を感動せしめたり

●花田中佐の講演 廿七日午後一時三十分より仁川民團樓上に於て花田中佐の社界教育に關する講演あり傍聽者百余名にして五時閉會

●巡查採用試驗執行 來る廿九日警官練習所に於て巡查採用試驗を擧行する由なるが志願者は三百餘名に達したり

●商工調查報告の刊行 農商工部商工課にて先年より從事せし朝鮮商工調查報告は釜山元山の兩方面のもの既に印刷終りたるを以て昨今夫々配付中也

公人私人

▲高瀨梅吉(韓銀支店長)廿六日天眞樓 ▲馬越恭平(大日本麥酒會社社長)同 ▲中瀨究平(鐵道副參事)同山本旅館 ▲朝比奈林之助(鐵道院技師)同不知火 ▲尾崎熊吉(堺紡績會社取締役)巴城館 ▲森淸右衞門([illegible])同京城ホテル ▲高根信禮(木浦民團長)同仁川行 ▲目黑幸太郎(氏實業協會主幹)仁川行 ▲內田良平 滯京中の處本日出發

▲京龍兩驛の貨客▼

▲南大門驛乘降客 廿六日の分
乘車客 六四一 下車客 九一六
▲南大門驛荷扱高 廿六日分
乘車賃金 一、二六〇、一六
貨物賃金 八〇四、八六
發送 八五噸 到着 四六八噸
▲龍山驛乘降客 廿六日の分
乘車客 三三八 下車客 一八五
▲龍山驛荷扱高 廿六日の分
乘車賃金 二〇四、〇九
貨物賃金 三六、一二
發送…… 到着 一四五噸

▲仁川港の出入船舶▼

△福州丸 廿八日大阪より入港
△木浦丸 同 大阪へ向出港
△吉津丸 同 大連へ向出港
△福州丸 同 安東縣向出港

內地巡禮日記(一)

水浪生

愛讀者諸君の知らるゝ如く我京城新報は四月の中に前後兩回の發行停止を受けた、前の停止は一週間で濟んだが、後の分は何だか長かりソウに感ぜられた、ソレは決して何人からも聞いたのではないがマア本能の囁きとでも云はふか、ナンダか一ケ月間位は閑暇になる樣に感ぜられた、因つて思へらく、此機會を利用し、新殿御造營完成後の伊勢の大廟を拜し、序を以て東都の紅塵を見舞ひ且つ各名勝に於ける新綠を尋ねんにはと。

四月二十九日夜南大門驛を發す、同室の客は土木鐵道工事を以て有名なる某氏にして隣室には倉富司法部長官の令息あり、車中何事も無く、夜濟車の有難さに安眠を得、型の如く翌朝釜山に着し、次いで連絡船壹岐丸に搭じ、定期の時間に於て下關の埠頭に着す。

歩を進めて停車場待合室に入らんとす時に飛電に接す、曰く警務總監部は余の內地旅行の目的を知らんが爲めに臨時會議を開きたりと、臨時會議、开が爲に開かれたとすれば餘りに大行なことだ、ソウして如何に聽明な人達が寄つたとて、元來巡禮以外に大した目的を有せぬ余の旅行の目的を發見されよう筈は無い、併し折角の飛電、マサカ嘘でもあるまい、アー御苦勞な事だと、感謝の念に充ちつゝ上りの夜行に乘つた。

車中は南大門から一ショになつた某氏と余との二人である、時に深夜なるにも拘はらず親切なる下關の同業者は余を訪ねて呉れた、余は其厚意を謝し、發車後は乘客寂なきが儘に寢臺料を儉約しながら悠々と眠ることが出來た。

明くれば五月一日、一ショなる某氏の讀經の音聲に目を覺ました、某氏は其亡父と同じく大の佛教信者で、經文及び珠數をば其忙はしき旅にさへ携へられて居らるゝ汽車が福山を過ぐる頃はソロ〳〵無聊を感じ、某氏は得意の淨瑠璃を、余は浪花節を語り始めた、岡山驛にて一人の客が殖へた、其客風貌超脫ドウしても地方紳士の人だ、併し余等は此紳士の前に淨瑠璃と浪花節とを續けた、語り物は五行本の赤垣源藏、淨瑠璃と浪花節との競爭をやつた、客紳士後にて聞けば名は出石義直、神戸に着くまで辛抱して余等の雜談を聞いて呉れた、神戸からはモーヤ一車專用と云ふ譯には行かず、行儀作法に縛られつゝ二日午前新橋に着し、例に因つて烏森の旅舍に投ず。

旅裝を改め腕車を飛ばし[illegible]して永田町陸軍省に於ける總督府出張所を訪はんとす、街上突然余の名を呼ぶ者あり、振返れば开は京城の友人內山守太郎君であつた、後會を約し出張所に赴き兒玉秘書官に逢ひ寺內總督へ面謁を申込んだ、秘書官余の爲めに官邸に走り、歸つて曰く明朝官邸まで來られたしと。

總督府出張所は京城からの上府者で其狹き室は一パイであつた、鼻の療治を濟まされた許りの中山成太郎君が居つた、常留守居の服部君が例の愛嬌を湛へつゝ、忠實に文書の整理に從事しつゝあつた。

▲愛婦總會雜觀▼

愛國婦人會朝鮮本部第二回總會が廿七日午後昌德宮苑內に於て開會された、雨天にも拘はらず四百有餘の會員及び來賓が參會した▲開會宣告後[illegible]一に評議員寺內伯爵夫人の[illegible]▲總裁殿下の令旨を捧讀した、[illegible]が謙遜の德に富める伯爵夫人の事とて大きな聲を出さず、二三行讀む每に[illegible]を卓上に下した▲藤田本部長代理の奉答文朗讀が莊嚴にはあれど聲高々と御苑の森林に響き渡る程であつた▲小宮李子の祝詞代讀其聲度其音聲中々に立派であつた▲李王妃殿下の祝辭は閔丙奭が代讀した、而して次に寺內總督の祝辭があつた▲寺內總督は世人の知る如く口の人ではない、故に演說の餘り上手でないのは素より當然の事だ▲總督の演說中日鮮兩國と云ふ語があつた、日鮮兩國の語、斯は少しく耳新らしくあつた、併し之は記者の聞違ではないのだ▲總督閣下一番して曰く愛國婦人會員は其貞淑の風を會員外にも及ぼすべしと、貞淑の擴張案より結構な事だ、併し玆は場所が違ふ、故奧村婆さんが聞いたら何と云はふか▲終りに臨み記者は大橋幹事に當日の勞を謝する、而して同時に同じ伯爵夫人を寺內のを伯爵令夫人と呼び、阿部のを單に伯爵夫人と呼んだ理由を尋ねる▲モーツ序に當日はナゼか優待章佩用者の爲に席が設けてなかつた、爲めに數多の優待章佩用者は席か無くつて困つて居た幹事君次の總會にはチト氣を附くべしだ。

●倉庫業設備 金融組合の事業は着々成功の域に進みつゝあ[illegible]各地に倉庫の設備をなさしむべく計畫中なりと云ふ [illegible]として更に倉庫業を兼營せしめされは[illegible]

[illegible]員一行は來三十日午後一時仁川驛着の[illegible]し各國公園地にて少憩民團より茶菓の[illegible]夫れより協會員は民團會議所鐵道等よ[illegible]り出せ案內者に導かれ稅關波止場よ[illegible]列車にて京城に歸る筈也

▲相場電報(二十七日)(明治町西村支店著電)

▲大阪株式(六月限)

▲神戸電鐵 同 三三、五〇 ▲京阪電鐵 同 三三、六〇 ▲[illegible] 同 五八、八〇 ▲[illegible] 同 九七、二〇 ▲[illegible]紡績 同 [illegible]

▲東京新株 同 [illegible] ▲大阪株式 同 [illegible] ▲[illegible] 同 [illegible] ▲取引 同 [illegible]

▲大阪期米 ●廿七日前場五月寄十六圓九十八錢 止十七圓四錢 ▲六月寄十六圓九十九錢 止不明 ▲後場五月寄十七圓五錢 ▲止[illegible]

▲仁川米豆取引 ●廿七日當場五六月出來不申 ▲七月寄十一圓三十錢 [illegible]

寄稿 汽車の旅　晩香

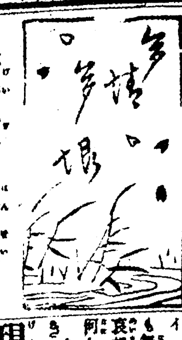
うろ〳〵ロレツが廻らなくなる程の州ない酒に酔つぱらつかと曰はれては少々癪だ、こゝらで里ヶ顕はしては愛想をつかされるは必定、雨にも風にもならぬ中に御免を蒙つて寝る事にした丈けは無事であつた。

明けて十三日昨夜の御馳走シタヽカ頂戴したので頭が重くて上らぬもれぬ書よ乗よとは聊か法螺かも知れぬが妻君の手厚い介抱でどうやら氣持も能くなつた、御馳走され其上介抱され流石の鐵面皮も何とかせねばなるまいと曰ふ考へから御出し形ばかりの品物ヶ置いて午前十時発の列車で平壌へ還つた今日は始めての好天氣、搗てゝ加へて南行列車迄には大分時間があるので、牡丹臺の古戦場を除備な探るの此ずなきに至つて折角だから見ないで帰るのも何だか耻的に對して申譯のない様な氣もするやうなはけで案内する人あつて引張られて行つて見る事にた別に今更事新らしく余輩がこゝの説明をする必要もないから之は一切抜きとするが流石に當時が忍ばれて時の立見少將や大島將軍の苦心ヶ察せらるゝ況や其部下の下士兵卒に於いてをやだ何にか京へ土産にと思つたが之も財布との相談である處が財布が又頗る不平顔なので止むなく中止、旅の空臓に心細い次第である宿へ歸つて見ると已に發車時間を除す準備が出来五分早速勘定を命じた曰く大枚七十錢とは比較的安い然し流石の吾輩もこゝでは、まさかに七十錢丈けなげて飛出す勇氣もないそこで茶代ともつかず女中の祝儀とも付かず思ひ切つて一圓札を置いて出た如く兩手をついての御挨拶とは聊か痛地獄の沙汰も金次第で、低頭平身蛙み入つた其上に宿屋の別嬪が停車場迄送つて來たのは尚更氣の毒であつた三十錢の威光は誠にえらいものである時に午後五時十分愈平壌驛にさよならして炭に名のある新幕に向ふ、旅はういやになり心矢の如くであるが、なろう事なら平壌にもう一泊して助けの急いで飾りたいは山々なれども時間にしばられて居る身、伸縮自在ならざるを如何にすべき、車中美人あり否美人にして愛嬌あり之を以て眞の美人と花さんも曰ふか芳紀將に二八と見たは嘗れるや否、然も之れが新日本婦人にして未だ嘗て見ずして始めて見たものだからたまらない人のすく人わしもすくので十指の指す處衆目の注する處、ひやかすなかれ流石の石部金吉も頭涎三千丈とは少々大袈裟だが近頃稀に見るものを見た。

花の色香に迷ふな様よ
三日見ぬ間に雨と風

汽車は新幕止り是非こゝで宿まるの止むなきわけなり、着いたのが午後の九時、淋しい寂寞不平を訴ふので、うつかりしか處には泊られない、そこで御知の人を訪ひ其の案内で形ばかりの旅宿、落ち着いた、素より夕飯は入らぬ菓子も何にも入らぬ、豫防線をはつたが矢張空腹を訴ふるので遂に館を命じた。





京城 藝妓の半生（九） 清華亭の鈴奴（二）

貴郎、お酒つてものは妙なものね言ふまい話すまいと思つて居ても「お酒ッて奴」に釣り込まれてベラ〳〵喋つた斗りなら未だしも少々舌の利き過ぎた手前味噌を塗りコクつた遠引沙汰までを調子に乘せてウカ〳〵と白状に及ばせるつてんですものね、エ、合の手は短く〳〵とね、簡單々々と云ふ所ですね宜しい萬事心得た、は一寸貴郎の擬聲よ鈴ちやんナカ〳〵器用でしよう、褒めて頂戴よ、妾や貴郎に褒められるのが何より嬉しいの……アレッ御免なさいよホヽヽヽ、冗は一切拔きとして左樣斯うして稼いで居る間郵船の神戶支店に事務員で藤田さんと云ふのがあつた、而して一日のこと給仕妾が其方のお座敷を勤めて居ると其の席へ物も言はずドサ〳〵と踏込んだ大男が二人「君は郵船の藤田何某であらう」と立つた儘、スルと藤田さんは「僕の姓名が聞きたいとなら夫れ夫れの禮があるべき筈だ物も言はず他人の酒席に闖入して立ち跨つて居るのは無禮であらう、全体君等は何者だ」と叱り附けられて恐れ入るかと思ひの外顔を見合はしてねニヤリと妙な笑ひ方をしたの、而して悠々と取り出して差し附けた名刺を見ると刑事巡査なのよ「署迄同行を求めます」と旋落着に落着いたもの「僕は警察に同行を求められる理由はない」と藤田は異背になつて怒鳴る「職權を以て同行を求める、兎角は署で判明する」と言葉さへ徐々粗雜になるの、爭つても詮術がないと諦めたらしく立ち上つた藤田さん「太郎ちやん直きに歸つて來るよッ」と威勢の良い言は云ひましたがねが言葉尻が妙に哀れに響いたの陰にこもつてボーンだらうッて、馬鹿々々しいを仰云いよ串戯ぢやないのよ、悄々として刑事係に伴れられて行く後姿を見惚つた妾、思はずホロリとなつたの、イ、エ惚けぢやない證據には何の關係も無かつたのですもの、唯譯もなく可哀想で氣の毒で堪らない夫れにしても何を仕て警察になぞ拘引れたのかと聞き合はして見ると少し前に支店で現金五百圓紛失した事がある其の嫌疑と云ふのですッて加けに夫れが藝妓太郎なるものに現を脫かし落籍の金に手詰つて斯る不埒を仕出來したに相違なしと、頭から極めて掛つた次第と判つて見ると馬鹿〳〵しいやら腹が立つやら、夫れにしても藤田さんが一層可憐い相だと云ふ念が起りますわね……知らないつて、厭手になさいよ藝妓太郎なるものに現を脫かしが振つてるワ、警察へ引つ張られた時を入れて只た三度お座敷を勤めた計りですもの況して夫れもホンのお酒のお相手丈け先方でも何とも思つて居なかつたでしようし妾は元より中村と云ふ立派なのがあるんだから其樣心はコレン斗りも有りやしませんワ、從つてですね「落籍の金に手詰つて」なんて事の出よう道理がある筈のものですかよ、夫れだのに何うしたものか警審に回されたの餘りの馬鹿らしさと一つは持つて生れた氣質から氣の毒なが先に立つて借金の殘ることにも心着かずに辯護人を附けて上げようと決心したの……傑いもんだよッて惜らしいよ（つゞく）

●姦通を種に恐喝

鹿兒島縣人當時住所不定家村郁之助（四二）及兵庫縣飾磨郡鹿谷村生れ當時京城蓬萊町一丁町一番戶振角藤太郎の二名が恐喝取財犯人として起訴せられしに家村は犯罪發覺前逃亡し未だ所在不明なるが藤太郎一人丈京城地方裁判所刑事部に於て來る六月二日原裁判長の係りにて兩角檢事立會公判開廷せらる可き筈なるが右犯罪の動機を聞くに郁之助は昨年四月中本町五丁目某方に雇れ地均し工事の監督を爲し居たる關係より屢々雇主の某は屢々郁之助の宅に出入し居る內同人內緣の妻永留しげと怪しき關係ありとて郁之助は妻しげを詰責せしにしげは遂に堪へ兼ねて姦通せし旨を自白したる後直ちに石油を被り點火自殺を謀り死に至らざりしが郁之助は之れを以て何某を恐喝して金員を騙取せんと決意し昨年七月四日付書留郵便にて何某に宛て妻しげと貴殿と姦通したる事は妻の自白に因り覺知せし故實の有無を決する爲め來宅の上しげと對談ありたき旨申遣したるより何某は非常に驚き窮て懇意なる白木某なる人に仲裁を頼み双方協議の結果、金三百圓を何某より郁之助に贈る名目の下に支拂ひたるが其の後又々郁之助は振角藤太郎と共謀して牛肉商を營むに付資本金として金七百圓を貸與し呉れ出來ざれば相當の考へありと申込みしに何某が確たる返答を爲さぬ內北部警察署刑事の探知する所となりたるものなりと

●不束檢な女髮結

二十六日正午三十分頃京城櫻井町女髮結眞谷コイツ方に於て愛媛縣人當時龍山漢江通り岡崎町四丁目三十番戶藤田林五郎なる者が壽町三丁目下宿小松屋止宿通稱忠次郎事大工職福﨑堰寅吉（三二）より頭部を毆打され重傷を負ひ明治町鶴田病院にて治療中なるが加害者は現場を逃亡せし旨聞知したる長野、岸兩刑事は搜查に從事し直ちに發見して本署に引致したるが今犯罪の動機を聞くに女髮結コイツは昨年七月頃迄寅吉の妻なりしが寅吉は大工職にて時々地方に出稼きして留守多き事とてコイツは不貞にも櫻井町居住某肴屋と不義の密通を爲し遂に寅吉不在中肴屋の方に押掛け夫婦然として巫山戲內る內寅吉歸宅し發覺して悶着起らんとせしを近隣の者の仲裁に因り寅吉と手を切りたるが間もなくコイツ今度は被害者なる藤田林五郎と私通し肴屋より放逐され仕方なく前非を悔悟せしとて斷髮して寅吉の許に謝り謝罪せしより寅吉も改悛せしとなら世話して遣らんとて返せしに一方林五郎は豫て寅吉の世話になり數十圓の借金あるにも係らず其後もコイツの宅に通ひ二十六日の如きは二人で巫山戲散らし居る處に寅吉が出會せしより双方摑み合となり瓶を以て毆打負傷せしものなりと

●山道亞川子喚問さる

雜誌「新半島」主幹山道亞川子は二十七日京城地方裁判所檢事廷に撥檢事の喚問を受けたり事件の內容は不明なるも過日同氏に關する內地新聞電報欄內に揭載せられたる件に關するものなりと傳ふるものあり

●身代犯人起訴さる

既報親分の身代り事件の被告人加藤吉藏は兩角檢事の手にて犯人藏匿罪として起訴せられたり因に前號立會檢事を長尾氏とせしは兩角檢事の誤に付訂正す

●出火と燒死

去る十九日平安南道下道面金井洞の林化鎭方より出火し五戶燒失して隣家の林龍鎭の妻（二〇）は燒死せり又廿四日全北鎭安郡一北面に火災あり全燒十七戶半燒二戶男一名燒死したり

●仁川牛乳は不良

仁川警察署にては時節柄滋養飲料たる牛乳に付き去廿三日矢野獸醫をして各牧場の檢乳を行いたる結果として牛乳の脂肪分に定量より多少超過を見るに至りしと雖も敢て善乳の許を下すを得ず畢竟各場とも滋養飼料の供給十分ならずと云ふ因に各場の市牛脂肪分の比較を示せば二、八六九山田、二、九七一岩本、三、〇七三新乳軒、二、八六九波多野、四、六二入上野、二、七六七深堀等なり

女振り（四）

高田直太郎君二女 高田さし子

お父さんの直太郎君は陸軍省技師にして目下馬山浦要塞官舍にお住居である。さし子さんは十九歲であらう、本年三月民團立高等女學校を成績優等で卒業せられたのである、而して超ねて四月の下旬明治町通りでお見受けした時には丸髷姿の好い奥樣に成つて居らるし、熟々考へると敢て驚くには足らないことであるが、何うした事か其の時には驚いた、何んでも總督府醫務課の技手某氏の夫人に成られたのである相だ、夫れなら何も驚くには當らなかつたのだ、本來ならば何氏夫人として紹介すべきであるが生憎夫れが判然しないから直太郎君の二女として紹介する次第であるから惡しからず御諒承を願つて置く、敢て美人と申すではなきも愛嬌に富んだ而して言語なら動作なら如何にもキゼ〳〵としたものである、最もお得意なのが手藝、料理、生花等である、紫式部は其理想的人物であると。

●新案特許駒下駄

今般其の營業主を代へると同時に鶴屋と改號せし本町四丁目舊名播磨屋下駄店にては自家新案に係る男女直履き及び男女用表付下駄の特許出願中の處此の程其の特許を得たるより廣く賣り出す事となりしが値段の如き直履き各一足十五錢表付同十八錢の廉價にして極めて便利なるものなりと

●郵便局員の詐欺

忠淸南道大田郵便局の事務員犬塚虎雄（二二）は去月十九日鷄龍郵便局、鳥致院郵便所、拂込江景郵便所扱ひにて谷口一郎宛の爲替電報を僞造して低館郵便所より金百圓を詐取したり

●皆春樓の新妓

大人氣大藝展をなしつゝある新町遊廓皆春樓に輸入し來りたる美形を披露せんに東京淺草區千東町生れ岸本なと（二三）は萬龍と名乘り此妓は三年間公證面七百圓に別借三百圓あり新町唯一の美人なり▲東京橋區南小田原町生れ村田あい（二〇）は乙女と▲千葉縣人若林きと（二二）は小金と▲神奈川縣人川島ひろ（十九）は小巢と夕乘り何れも今晚より

日曜集會

●京城基督教會 日の出町同教會に於ては廿八日午前十時米澤牧師の禮拜說教「實在と陰影」午後八時同牧師の傳道說教「人の偉大」ある由參聽隨意

●日本キリスト教會 旭町四丁目同教會にては廿八日午前九時より日曜學校同十時より外村牧師の禮拜教說「ピリピの獄舍」午後八時より同牧師の傳道說教「稅吏ザーカイ」あり參聽隨意

●メソヂスト教會 旭町二丁目同教會牧師木原外七氏は京城部長に轉任せられ同教會牧師後任には藤岡潔氏任命せられ二十七日來着したり而して二十八日午前十時より新任牧師藤岡潔氏の禮拜說教あり午後八時よりは同氏の傳道說教ある筈なりと云ふ

●禪鐘提唱並に月並報恩會 若草町一丁目曹洞宗兩大本山別院にては今日臨午前十時より主任田中道園老師の無門關提唱なし午後七時半より報恩會に相當するを以て同老師の說教和讚あり何は隨身衆僧の宗意問答ありと云ふ

●微笑會 廿八日午後三時より初音町二丁目臨濟寺に於て無盡燈論提唱あり

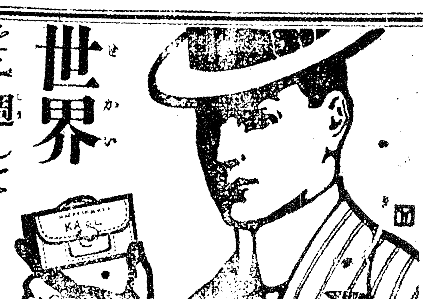
●演藝だより

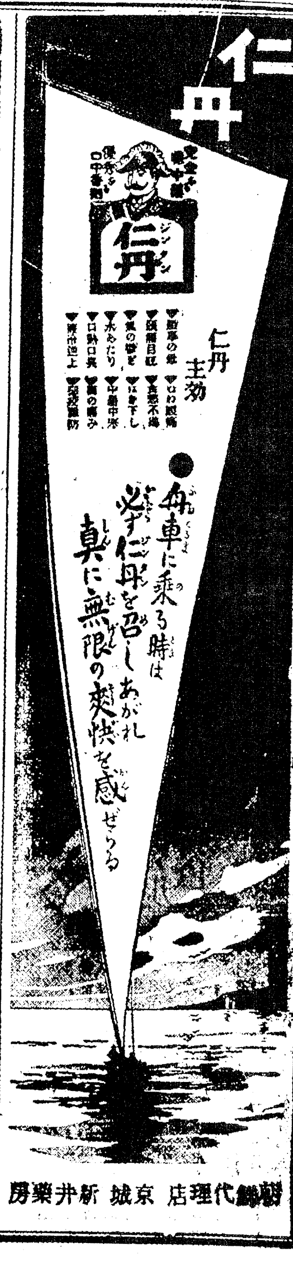
●壽座 二十八日曾我廼家一派の替り狂言は「再緣」「獅子退治」「アイラブユー」「○の世の中」各二場なりと云ふ

●歌舞伎座 相變らずの好人氣なる雲入道も愈々二十八日を以て千秋樂に付きれ名殘りとして最得意の讀物三席義士討入より兩國引揚げ迄、赤垣源藏徳利の別れ、赤垣源藏禁酒談




TUYOL
ツヨール
淋病内服新藥
下山慶田笹中加松岩川朝藤山川の田奈傳邊學諸士實驗證明




仁丹
安全で確實な 優秀な 口中香劑
仁丹 ジンタン
仁丹 主効
▼舟車の醉 ▼頭痛目眩 ▼氣の鬱を ▼水あたり ▼口熱口臭 ▼精神逆上
▼ねむ眼瞼 ▼食慾不進 ▼はき下し ▼中暑中寒 ▼胸の痛み ▼惡疫豫防
●舟車に乘る時は必ず仁丹を召しあがれ
眞に無限の爽快を感ぜらる
總代理店 京城 新井藥房


複方吐根散
たんせきの特效藥
賣捌店 全國到る處にあり


世界一のかぜ藥
全國藥店にあり
蛇印 アンチピリン丸
ねつ・はやりかぜ・づつう りうまちすに大効あり
藥價 五錢・十錢・十五錢・廿五錢
發賣 大阪心齋橋二丁目 丹平商會
本舗 東京日本橋通旅籠町 丹平商會

